

ニュースを教育・研究の視点から発信する OTEMON VIEW

正解を探すより、問い続ける力を。 AI 時代にこそ必要な「国語」の学び

追手門学院が OTEMON VIEW を開設

学校法人追手門学院(大阪府中央区、理事長：田口順一)は大学公式 HP に特設サイト「OTEMON VIEW」を開設しています。

<https://newsmedia.otemon.ac.jp/>

人気の記事 よく読まれている記事！

- 
 2021.09.02 地域・観光
 死海文書とは何か。日本語訳プロジェクトに携わる研究者が明かす、その全貌
 148537Views
 OTEMON VIEW編集部
- 
 2022.10.07 社会と暮らし
 男女平等ランキングはなぜ低い？日本のジェンダーギャップ解消に求められる家族観・政策の視点
 114446Views
 OTEMON VIEW編集部
- 
 2022.07.06 こころとからだ
 「なつかしさ」はビタースイート。記憶心理学者とたどるメカニズムと心理的効果
 82487Views
 OTEMON VIEW編集部
- 
 2022.12.20 社会と暮らし
 元マルサの指揮官が語る「国税専門官」の仕事とキャリアパスのリアル。
 77279Views
 OTEMON VIEW編集部
- 
 2022.05.26 IT・メディア
 フェイクニュース、デマツイート。止まらない拡散。その正体を追う。
 52426Views
 OTEMON VIEW編集部

OTEMON VIEW 人気記事ランキング

OTEMON VIEW とは

「ニュースの面白さは、見方次第。」をコンセプトに、日々移り変わる世の中の出来事を、追手門学院大学の教員らが教育・研究成果など専門的知見に基づいて読み解きます。

ニュースを教育・研究の視点から

AI が文章を書き、瞬時に多くの答えを出す時代。「知りたいことを、すぐに調べられる」今、子どもたちは学校で何を学ぶべきでしょうか。中学・高校の国語科教員として 23 年勤務し、現在は日本近現代文学研究の傍ら国語科教員をめざす学生指導を行う東口昌央准教授。高校学習指導要領の改訂による近年の国語教育の変化や授業実践を通して、AI 時代だからこそ見直したい「国語」の役割についての解説です。

(以下は主なポイント)

「正解」を急ぐ子どもたちと教育現場の変化

○コスパ・タイプ重視で、伝える努力をしなくなった

揺れ動く国語教育——「読解力」を育む教育の落とし穴

○実用的な読解力を鍛えるには、評論文だけで十分か

○読解の先にある「解釈」が思考を育てる

文学は「正解のない問い」と向き合うための教材

○生きるためなら悪は許されるのか？——『羅生門』で考える本質的な問い

○AI には代われない、人が学ぶ意味

間違いから学び、自分の思考を育てる

○ただ正解を知るのではなく、「なぜ間違えたのか」を考える

記事本体: <https://newsmedia.otemon.ac.jp/4015/>



記事のイメージ

この資料の配付先：大阪科学・大学記者クラブ、北摂記者クラブ等

【発行元】

追手門学院 広報課

TEL: 072-665-9166 織田・所